

# 「めあて-まとめ・振り返り」のポイントをお子たちと共有する

9月24日に行われた小学校算数科における授業力向上研修会では、秋田県大館市教育研究所の米澤先生より、授業オリエンテーション、模擬授業、講演を通して御指導いただきました。授業オリエンテーションでは、学習の流れを冒険の過程になぞらえて子供たちに説明され、主体的な学びを促されました。本号では実際に米澤先生が子供たちに語られた言葉の一部と、それに関連した教師の指導のポイントをまとめて御紹介します。

## テーマ「授業は冒険だ！一人一人が主人公！」

### めあて

### 冒険は小さな「違和感」から始まる→課題発見の力

米澤先生から  
子供たちへ



違和感をもたないと課題はつくれません。先生にめあてを教してもらい、やり方も教えてもらっているようでは時代遅れ！社会に出たら役に立ちません。

### ここがポイント！

子供の問いから  
課題をつくる！

- (1) 子供の困り感
- (2) 学びの違和感
- (3) 子供の気付き・疑問

### 見通し 自力解決

### 冒険には地図が必要だ →冒険の旅に行くために見通しと自分の考えをもつ

米澤先生から  
子供たちへ



まずは見通しをもとに一步を踏み出しましょう。分からないからといって人に頼っていたら何も身に付きません。どこが分からないのか、どこで間違ったのか、途中でいいから自分で考えることが大切です。

### ここがポイント！

見通しをしっかりと  
もたせる！

- (1) 学習過程の見通し
- (2) 解の見通し
- (3) 方法の見通し

### 学び合い

### 冒険には「影の主演」がいる →どんな強い勇者でも、一人で冒険に出ることはできない

米澤先生から  
子供たちへ



助けてくれる人や、違う考えをもっている人がいるから困難を乗り越えることができます。自分の活躍の場面は自分でつくります。活躍できるタイミングを自分で見つけるのです。

### ここがポイント！

「個」の考えをつな  
ぎながら学び、  
(思考)を深める！

- (1) 発表内容に耳を傾ける
- (2) 発表を聞いている児童を学び合いに巻き込む
- (3) 論点を整理する
- (4) ゆさぶりの発問

### まとめ 適用題

### 新たな知識という宝を発見→知識を自分のものにする

米澤先生から  
子供たちへ



今日、どんな宝を見つけたのか、先生に教えてもらってもいいけど感動はありませんね。授業の最初はできなくても、発見した宝を使って最後の評価問題が一人でできればいいのです。

### ここがポイント！

「めあて」とつなが  
る一般化された  
「まとめ」を、適用題  
に活用する！

- (1) ネームプレートを活用し、進捗状況を確認→個別最適化
- (2) 県の単元評価テストの活用

### 振り返り

### 冒険を「振り返る」→新たな冒険のはじまり

米澤先生から  
子供たちへ



誰でもいつでも書けそうな振り返りは望んでいません。今日の冒険で何を得たかを振り返り、記録することが大切なのです。実は算数が苦手な人の方が振り返りは得意です。

### ここがポイント！

自己を客観的に見  
つめることで、今後の  
学びへとつなげる！

- (1) どのように変容したのか
- (2) どの場面で変容したのか
- (3) 変容の原因は何か
- (4) 生活の中でも活かせるか